

「住みたくなるまち日本一」を目指して

富谷市記者発表【資料1-②】

令和3年6月4日

経済産業部 農林振興課

担当：伊東

連絡先：022-358-0523

富谷茶復活プロジェクト事業 「富谷宿開宿400年記念植樹式」開催について

江戸時代より奥州街道の宿場町・しんまち地区で生産が盛んだった「富谷茶」、奥道中歌に『富谷茶飲んで味は吉岡・・・』と街道宿場歌に詠まれたほどでした。

市では、時代を超えて伝えていきたい歴史文化として「富谷茶」復活に向けたプロジェクトに取り組んでいます。

平成31年より、日本紙通商株式会社様の容器内挿し木技術の協力を得て「富谷茶」在来種からの挿し木茶苗づくりを委託し、「富谷茶」の復活を目指すとともに、新たな農商工連携として「富谷茶」を利用した飲料水やスイーツの原料として利用できる取り組みを推進しています。

今回、日本紙通商株式会社様のご厚意により「富谷茶」在来種の苗木132本の提供を受け、富谷宿開宿400年記念植樹式を開催いたします。

報道機関の皆様におかれましては、ぜひ取材していただきますようお願いいたします。

記

- 日時 6月23日(水) 9:30~10:00
- 場所 富谷宿観光交流ステーション「とみやど」
(住所：富谷市富谷新町111番地1)
- 内容 富谷茶在来種の苗木80本を植樹



富谷茶復活プロジェクト

江戸時代、奥州街道の宿場町だった富谷は、茶の生産が盛んであり「奥道中歌」には「国分の町よりここへ 七北田よ 富谷茶飲んで 味は吉岡」と詠われ、仙台藩主にも献上されていました。

かつて茶の産地であった富谷の新しい特産品としてお茶の栽培と商品化を目指し、平成29年に富谷茶復活プロジェクトがスタートしました。